



学校評価の結果について

笠井 修

学校は自校の教育活動や学校運営について、めざす目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより、学校としての組織的な改善を図っています。

今年度26項目(回答対象によって数は異なります)で評価をしました。ご協力ありがとうございました。結果は別紙の「令和2年度長久小学校学校評価の結果」をご覧ください。表の中の★印が今年度当初に共通理解した重点項目です。児童の肯定的割合が前年度よりも上回ることを目指して、教育活動を進めてきました。以下がその結果と考察です。

①「学校は楽しい、楽しく生活している」 89%

学校は子どもたちが安心して学び、明日も学校へ行きたいと思えるものをめざしています。子どもたちは、時として学習内容や、友だちとの人間関係に悩み、その壁を乗り越えることが大変だと思うことがあるかもしれませんが、それでも、基本的に学校大好きな子どもたちになってほしいと願い、日々対応しています。子どもはお客様ではありません。子どもの思い通りに対応するのではなく、将来、一人一人の子どもたちが自己実現できる力を育てるために、学校生活全体をとおして、ソーシャルスキルを身につけることが大切です。しかし、約1割の児童が楽しいと感じていない事実を真摯に受け止め、改善していかねければなりません。日々の児童観察と学期ごとにおこなっている生活アンケートや、個別相談を効果的に実施し、声なき声を聞き取れる教職員集団にならないと思っています。

②「授業が分かりやすい」 87%

今年度より、小学校の学習指導要領(子どもたちにどのような力を身につけさせるかを各教科等で表したものが改訂となり、知識や技能を身につけさせること、更に深く理解・習得して、それらを活用できる力へとレベルが上がったために、教員の日々の授業において、その意識で取り組もうとしているので、学校の自己評価はこの項目の値が低くなっていると思われる。

③「授業でよく発表する」 74%(+5%)

主体的対話的で深い学びをすること、発表を通して友だちに説明することをめざしています。そのためには聞く力が大きく影響していきます。人の話をしっかり聞くの項目で92%が肯定的回答です。そのような学習集団の良い状況なので、更に、発表することが、自分の深い学びにつながることを体験させたいと思います。今年度はコロナ禍の中、グループ学習など対話をしつかり取り入れることを敬遠したこともあります。次年度は、学習活動を工夫しながら取り組んでいこうと思います。

④「家や学校で本をたくさん読む」 74%(+7%)

前年度比+7%の結果です。学校での貸し出し冊数やおすすり本の完読達成者も昨年に比べて増加しています。教員からみても+45%と大きく改善しているように見えています。しかし、保護者の肯定的回答は38%(前年度比較+4%)です。家庭で子どもたちは読書をしている様子があまり見られないのだと想像できます。学校でも啓発をしていきますが、家庭でも本を読む楽しさを味わう親子読書などをしてみられることをおすすめします。

⑤「あいさつがきちんとできる」 87%

子どもたちは、学校の中で児童会を通してあいさつ運動に取り組んでいます。また、保護者の肯定的回答も71%と昨年度より7%改善しています。反面、学校はマイナス10%、地域マイナス23%と低い値です。あいさつは人と人とのコミュニケーションの第一歩です。『いつでも、どこでも』のあいさつを学年に応じて話をしていこうと思います。

⑥「しっかりと体を動かして遊ぶ」 90%(+4%)

今年度は年度当初から、コロナウイルス感染症予防のため、体育の授業や児童会の体育関係活動で制限もあり、例年のような取り組みができない状況ではありましたが、本来の子どもの姿である体を動かして遊ぶことは、十分にできていたようです。

⑦「早寝、テレビ・ゲーム時間等の約束を守る」 82%

児童は昨年度に比べて1%改善していますが、保護者アンケートでは、肯定的回答が47%で昨年度よりマイナス7%となっています。コロナ禍の中、家庭で過ごす時間が多くなった現状から、メディア接触の時間が長くなったのではないかと考えられます。新しい生活様式にあわせて、家庭での過ごし方を考えるきっかけとして、学校での一日の生活について考える教育活動を指導計画に入れる必要を感じています。

## 校内書初め会(三〜六年)

一月十五日(金) 独立書人団大田支部の方々の指導の下、校内書初め会を行いました。はじめは普段あまり使わない大筆で書くことに苦戦している児童も多くいましたが、一枚、二枚と書くごとに字形が整っていききました。講師の先生からも「とても集中して一所懸命取り組んでいた。」とほめていただきました。十一名もの先生方に指導に来ていただきました。ありがとうございます。



## 六年 心に残る我がふるさと語ろう会

一月二十一日(木)に西部公民館主催による「長久の昔を語る会」を視聴覚室にて行いました。まず始めに、戦時中から現在までの大田・長久地区の写真およそ百枚をスライドショーで流しながら、長久地区にお住まいの五名の語り部さんに一つずつエピソードをお話いただきました。風景や人々の生活の変化に驚きながら、地元の歴史に触れる機会となりました。次に、五グループに分かれての感想交流会を行いました。子ども達からは様々なジャンルの質問が飛び出し、それについて本当に語り部の方々が熱心に、そして分かりやすく説明をしてくださいました。

食べ物も無く、世の中全体が貧しい時代、でも写真に写る人々の顔には笑顔が溢れていました。物がなからこそ自分たちの手で様々なものを作り出し、豊かさを生み出して行くこととするその姿に、ものすごいエネルギーを感じました。物に溢れるこの時代だからこそ「与えられる生活から自ら創造していく生活へ」というのは大切にしたい視点だなと感じます。時代が流れ、こうやって昔を語ってくださる方の人口も年々少なくなっています。子ども達がいつか年をとったとき、地元のことを語れる人間になってほしいですね。いつも心にふるさとを！  
 六年生学級だより より



## 一日入学・一年生との交流

二月十日(水) 来年度の新入生を迎える一日入学を行いました。当日は、一年生の発表を見たり、ゲームをしたりするうちに緊張も解けみん

な笑顔いっぱいでした。四月九日の入学式には二十九名の子どもたちが入学する予定です。

### 寄贈

長久町体育協会 様から寄贈がありました。  
 ・綱引き用の綱、巻取器 各一台  
 ・ラインカー 2台  
 ・放送用アンプ 1台  
 ご紹介に合わせお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 三月の主な行事

三月 三日(水) スクールカウンセラー来校日  
 五日(金) 六年生を送る会  
 九日(火) スクールカウンセラー来校日  
 一二日(金) 学校開放運営委員会  
 一六日(火) 学年会計監査一八時〜  
 一九日(金) 卒業式  
 二三日(火) 給食最終日  
 二四日(水) 修了式・離任式